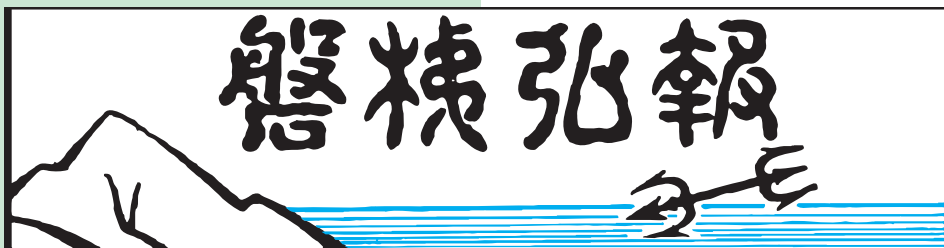


平成13年

6月号

No. 448



発行／耶麻郡磐梯町

編集／磐梯町総務課

TEL0242 (74) 1211

ホームページアドレス <http://www.town.bandai.fukushima.jp>

E-mail : bandai@town.bandai.fukushima.jp



はじめての田植え

6月2日磐梯一小で「田植え」の実習がありました。現在では機械による田植えがほとんどで、手で植えるのは初めての児童ばかり。最初はこわごわ田んぼに入りましたが、5アールの面積に苗を植え終える頃には慣れた手つきでの田植えとなりました。秋には稲刈りをします。

今月の町勢

平成13年6月1日現在

■世帯数	1,198世帯
■人口	4,235人
男	2,058人
女	2,177人
■転入	10人／転出 11人
■出生	5人／死亡 7人

はじまります うつくしま未来博



シンボルマーク



マスコットキャラクター



7月7日から9月30日までの86日間にわたる「うつくしま未来博」がもうすぐはじまります。テーマは「うつくしい空間 うつくしい時間」で、福島県のめざす多極ネットワーク型の考え方に基づく地域形成のイメージを表現しています。また未来博の名称は「ジャパンエキスポ イン 福島 2001 うつくしま未来博」で、美しいふくしまを意味する「うつくしま」と21世紀への期待を「未来」という言葉に込めて「うつくしま未来博」としました。

この未来博の特徴は、日本ではじめて森の中で開催される博覧会であり、森と共生する様々な知恵や新たなライフスタイルの創造を芽生えさせる催しとなっています。また多くの県民の皆さんが参加する手づくり型でもあり、会期中も来場される多くの方々が参加・体験・交流できることを基本としています。

磐梯町からも磐梯明神太鼓や赤枝彼岸獅子、磐梯町のブースではそばの実演や試食・地酒の試飲コーナーなども設けられます。県内で開催される博覧会ですので、ご家族そろっておいでください。

うつくしま未来博

開催日時

7月7日(土)～9月30日(日)

夜間開催

86日間
7月20日(金)～9月30日(日)

開場時間

73日間
9時30分～21時
(7月7日～19日は18時まで)

会場

福島県須賀川市

駐車場

(3ページ左上参照)

約12,000台(会場内5,000台・臨時駐車場7,000台)

駐車料金

乗用車 1,000円

○磐梯町の出展日時等

日時

7月25日(水)～7月28日(土)

場所

90市町村ふれあいパーク

内容

- ・磐梯町の観光PR
- ・そばの実演と試食
- ・名水を利用した栄川酒造と磐梯酒造地酒の試飲
- ・名水を利用した佐川の氷、りんごジュースの試飲
- ・シグマレンズの展示
- ・町の特産品や名産品の紹介

○磐梯明神太鼓、赤枝彼岸獅子の公演日時

日時

7月28日(土)

場所

90市町村ふれあいパーク
(ステージ)

公演回数

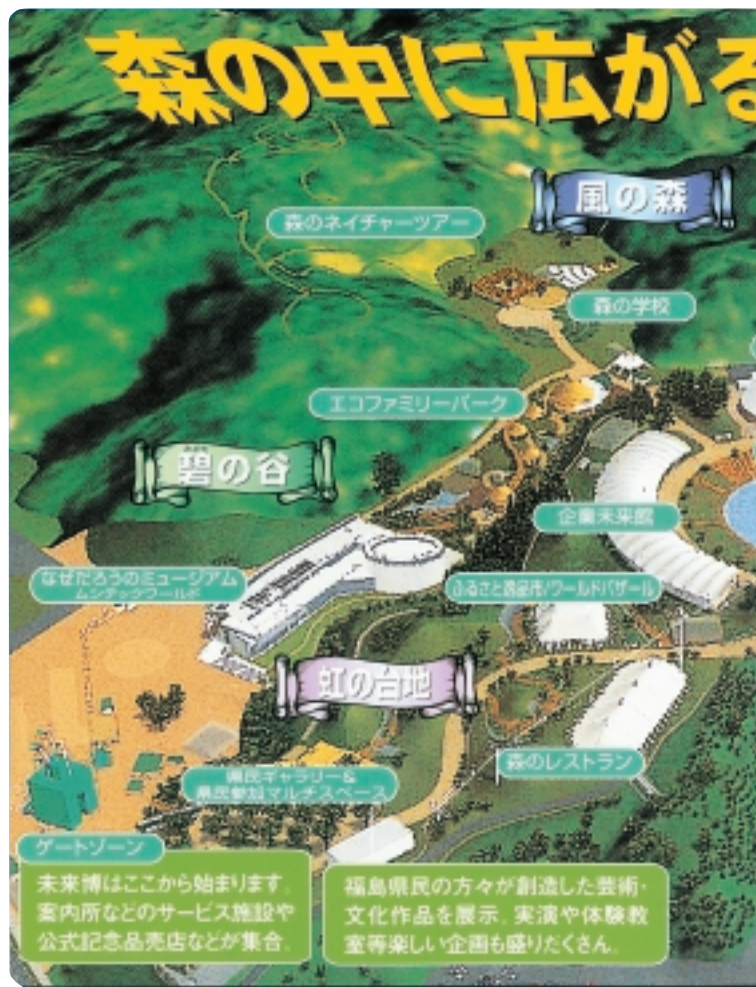
- ・明神太鼓 午前10時～午後1時30分
- ・獅子舞 午後0時30分～午後4時

(各30分)

会場周辺図



町長からパスポート券の贈呈



6月11日(月)磐梯町役場において、磐梯第一小学校(生徒数178名)、磐梯第二小学校(同62名)、磐梯中学校(同183名)の各校長先生に町長からうつくしま未来博の入場券

全校生徒に「未来博パスポート券」を贈呈

いろんな券種をラインナップ!
楽しみ方に合わせてお選びください。

入場券の種類	区分	入場料金(消費税含む)	
		前売券 平成13年1月 ～7月6日	当日券 平成13年7月7日 ～8月30日
普入場券	大人	2,800円	3,000円
	高校生	1,700円	2,000円
バスポート券	小・中学生	1,300円	1,500円
	大人	6,500円	7,000円
特別割引券	高校生	3,200円	3,800円
	小・中学生	2,400円	2,800円
一般団体割引券	大人	1,600円	1,600円
	高校生	1,000円	1,000円
学校行事団体割引券	小・中学生	700円	700円
	大人	1,600円	1,600円
夜間割引券	高校生	1,000円	1,000円
	小・中学生	700円	700円

大人、高校生、小・中学生の区分は次のとおりです。
(平成13年4月1日現在を基準日とします)
●大人は満18歳以上の方とします。
(高校生区分に該当する方は除きます)
●高校生は高等学校等の生徒、または満15歳以上18歳未満の方とします。
●小・中学生は、小・中学校等の生徒、または満6歳以上15歳未満の方とします。
●小学校未就学の子どもは無料とします。

●特別割引入場券
身体障害者手帳等をお持ちの方、入場日現在満65歳以上の方(会場入場券の区画とします。)

●一般団体割引入場券
15名以上の団体

●学校行事団体割引入場券
小・中・高各学校の教育活動で、教職員が引率する団体

●夜間割引入場券
夜間開催期間中、午後5時以降に入場する方
バスポート券は本人に限り、未来博会期中に何回でも入場できる券です。
(必ずご本人の顔写真をお配りいただきます)

(バスポート券)が贈呈されました。教職員分も含んでおり、各学校では総合的な学習等の一環として未来博を見学する予定です。各学校の見学予定は次のとおりです。

○磐梯第一小 7月12日(木)
○磐梯第二小 7月18日(水)
○磐梯中学校 7月18日(水)



みなさんの身の周り
にある楽しい話題、変わっ
た話題などをどうぞお
寄せください。

磐梯一小大運動会

曇り空の5月27日（日）磐梯一小では恒例の大運動会が開催されました。綱引きや玉入れなど紅白に別れて、大接戦でしたが、最後のリレーで赤組が逆転優勝。でもみんな一生懸命に応援や団体競技で頑張りました。



ごみの不法投棄箇所をパトロール

6月7日（木）町保健委員会では、町内全域にわたり、ごみの不法投棄箇所をパトロールしました。昨年主要な不法投棄箇所のごみ撤去を実施したところですが、未だにごみは捨て続けられています。保健委員会ではこの日、看板の設置や、ロープを張ったりして継続的に不法投棄の監視を続けることを確認しました。



第44回磐梯山開き

5月27日（日）第44回磐梯山開きが行われました。午前7時から猪苗代スキー場で式典の後、各登山口（磐梯町は八方台）では、ごみ袋、チラシ、ペナントの配付が行われ、ごみの持ち帰りや自然保護を呼びかけたところでした。公民館主催のめざせ百名山制覇では8名の参加がありました。



(1816年) 文化十三年十月三日
七十八歳寂

町を歩く 「中興宥智」 6

ほうそう神というのであれば村人は信じて拝んだであろう。そうすると、九頭竜宮がわからない。すぐ気づくことは、福井市の近くを流れて越前加賀海岸に注ぐ九頭竜川である。

どうして、九頭竜宮と竜宝寺がつながるのだろう。そもそも九頭竜神とは何ものであるか。

九頭竜川の源は、日本三名山の一つである白山である。

白山とすると、思い出すのが白山明神ということになる。日本の修験者の神様、役小角だ。その第二の行者といわれている人が泰澄である。

この泰澄こそ（717年）白山に登って修業を積んだ。その修業地が白山の翠が池だ。その地で九頭竜神に会うのである。それが白山権現だ。

つまり、水神である。そうするとおよそ見当がついたことになる。ほうそうとは、どこで関係するかというと、737年痲痘がはやった時に泰澄が祈って静めたことで中央にも知られた。こんなことで修験者の間では、この神を祀って人々を祈祷した。

明治元年の竜宝寺由緒書きによれば、「九頭竜権現は、寺中にあり」と。

結論、この祠は、九頭竜権現ということになる。



町交通教育専門員に日下忠直氏

これまで、町の交通教育専門員は大寺一区の鈴木明氏が委嘱されておりましたが、この度退任され、後任として大寺二区の日下忠直氏が町から委嘱されました。日下氏の今後のご活躍をご期待申し上げます。

またこれまでの鈴木明氏のご労苦に対し感謝申し上げます。ありがとうございました。

全戸にハザードマップ・ハンドブックを配付

昨年8月の気象庁発表の磐梯山臨時火山情報以来、私たち町民はこれまで慣れ親しんだ磐梯山が火山であると改めて認識をしたところでもあります。私たちは火山の噴火を他の地域のことで考えて、磐梯山が火山であるという性質を持っていることを忘れていたのかもしれない。磐梯町と猪苗代町、北塩原村では昨年の入山規制から解除、そして磐梯山に関する火山防災対策を講じてまいりました。また会津若松市を含む磐梯山火山防災連絡会議等も設置し、磐梯山火山防災ハンドブックの策定等に当たってまいりました。このほどマップとハンドブックが完成し、三町村では5月29日



(火) 午前9時をもってマップとハンドブックの公表を実施したところです。町では29日(火) 午前9時から各地区の区長、消防団本部消防署等約40名の参加を得て説明会を開催しました。また6月6日(水)には町内の各事業主等に対して説明会を実施し、防災意識の周知徹底を図ったところです。今後の日程は被害が想定される地区説明会を実施し、より一層の防災意識の浸透をはかります。



説明会の様子

第53回県消防協会 猪苗代支部幹部大会 開催される

6月8日(金) 磐梯町中央公民館において磐梯町と猪苗代町の消防団幹部大会が開催されました。開催地を代表して鈴木町長が挨拶の後、表彰伝達、来賓祝辞、受賞者代表謝辞と続き建議案(体験談)発表がなされました。磐梯町消防団からは第二分団機械部長鈴木久人さん、第四分団第一班長石田義一さんから消防団の活動を通して感じたこと、また活動のあり方について発表がありました。最後に大会宣言を出席者全員で確認し大会は終了しました。

町の表彰者は次のとおり

○福島県消防表彰

親子等消防表彰

副団長 金田 孝

班 長 金田 孝幸

○日本消防協会定例表彰

功績章

分団長 足利 眞一

精勤章

分団長 田部 茂雄

○福島県消防協会表彰

精勤章

分団長 田部 茂雄

精勤章

副分団長 鈴木 賢昭

勤続章

団 長 秋山 美和



町長のあいさつ

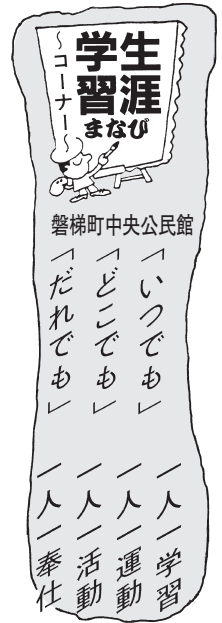


鈴木さんの発表

「ごみの減量化に ご協力ください」

磐梯町では5月30日を「ごみゼロの日」と定め、ごみの減量化を推進しています。また各種の補助制度等により各家庭から排出されるごみの減量化をはかっているところです。5月には各家庭からのごみの正しい分け方、出し方について理解していただくため「家庭ごみの出し方帳」を作成し、全戸に配付しました。ごみは分ければ「資源」まれば「ごみ」となりますので、ごみの減量化に向けて皆さまのご協力をお願いいたします。





磐梯大学5月教養講座実施

5月の磐梯大学教養講座を5月18日(金)に実施しました。昨年より多くの出席者があり、充実した教養講座となりました。



真剣な受講生の様子

教養講座では、中央病院救急センターからお越し頂いた3名の講師の先生より救急処置法と救急医療について、実技を伴った講義がありました。講話の内容として、高齢期にかかりやすい救急疾患として、脳卒中

や心筋梗塞など具体的な話
がなされました。実技では
心臓マッサージなどが行わ
れ、数多くの受講生が実際
に自ら実践し、体得したよ
うです。

趣味講座では、「ふるさ
との歴史」「園芸」「レクダ
ンス」「グラウンドゴルフ」
の4講座に分かれて行いま
した。

「磐梯町の歴史」では、
福島市飯坂に在住の90歳に
なられる秋山政一先生を迎
え40名が参加しました。久
しぶりに秋山先生の話が聞
けるとあって、かつての教
え子たちも感慨深げであり
ました。「レクダンス」は
20名の参加を得て和気あい
あいの中でスタートしまし
た。今年は講師に大竹晶子・
佐瀬みつ子両先生をお招き

しての講座でした。互いに
輪になったり、じゃんけん
をしたりなどしてあつとい
う間の1時間半でした。参
加者は「確実に10歳は若返
ったよ」と大満足の様子でし
た。



レクダンスの様子

「グラウンドゴルフ」は
今年で2年目となり、31名
の参加で行われました。競
技方法・ルール説明の後、
6班に分かれ公民館前庭と
運動場の16ホールでプレー
が展開され、時折笑い声な
どが聞かれ、なごやかな中
で終了しました。

「園芸」は武田一馬先生
を講師としてお招きして、
9名の参加のもと、特にダ
イリントキソウの栽培と管
理について説明があり、

「用土」については植え込
み用土は、ミズゴケ単用が
手間がかからず簡単で生育
もよい。という話がありま
した。参加者から植栽につ
いて、数多くの質問があり、
次回は武田先生の自宅で講
座を開催する予定です。

女性カレッジ

わが町ふるさと散歩

5月19日、恵日寺住職伊
藤泰雄先生が公民館大会議
室で説明した後、22名の参
加者のもと旧二本松街道を
たどり、三忠碑、布藤へと
向かった。特に源橋の所に
ある不動滝(蛇追ヶ滝)は
磐梯修験東口最初の潔斎場
であるため、参加者は特に
印象深かったようです。



ふるさと散歩の様子

新刊図書案内

- プラナリア 山本文緒著
- 熊の敷石 堀江敏幸著
- 虹の谷の五月 船戸与一著

○歴春ふくしま文庫

○あふれた愛 天童荒太著

○天の刻 小池真理子著

○姫椿 浅田次郎著

まだまだたくさんありま
すので是非ご一読下さい。

7月の行事予定

- 3(火)・10(火)・17(火)・21(土) 山歩き講座
- 5(木) 第17回町老連会長杯GB大会(町運動場)
- 11(水) 磐梯大学「交歓学習」(塩川町駒形公民館)
- 14(土) ばんだいっ子クラブ「グラウンドゴルフ」
- 15(日) 女性カレッジ
- 17(火) 第11回三協親善レデイスGB猪苗代大会
- 22(日) 磐梯町フレッシュカーニバル
- 25(水) 90市町村ふれあいパーク(未来博)
- 28(土) 磐梯やま楽校「夏の自然観察」

第7回

徳一大師について

講演 田村晃祐先生

―徳一の止観論―

「瑜伽師地論」を書いた人は弥勒という人です。京都の太秦の法隆寺には弥勒菩薩の素晴らしい像があり、中国のお寺にはだいたい弥勒菩薩が祀ってあります。弥勒菩薩に関するエピソードを話します。玄奘三蔵がインドへ留学して船に乗って川を渡っている時に沢山の盗賊船がきて船を取り巻き乗っている人の身ぐるみを剥いで玄奘のも剥いてしまいました。それだけならよかったんですが、その襲って来た盗賊たちは、毎年神様のために犠牲を捧げるという習慣をもっていました。どうしたら神様がお喜びになるだろうかと思っているとところへ、船を襲ってみたら、その中に中国人が乗っていました。インド人よりはきれいで犠牲にして差し上げたら神様がお喜びになると思ったのでしょう。玄奘の首を切って神様への犠牲にすることになったんです。

伝記を読みると、船の中にいた人などは「せっかく中国から一生懸命に勉強しようと思つてめざすところに近づいた時に、犠牲にして殺すのはかわいそうだからこの人を助けてやったらいいんじゃないか。」というようなことを言うみたいですが、盗賊の連中は神様に対して最も素晴らしい犠牲を捧げようとするので、船を岸に着け、ジャングルの中に壇を創って玄奘をそこに据えて首を切ろうとします。「自分は法相宗を勉強しようと思つて来て、インドの寺を目前にしたところで勉強ができずに死んでゆく。死んだら何とかして兜卒天という天の世界に生まれて弥勒菩薩のところにいくことが出来ますように。弥勒様お願いします。私はあなたのことを、あなたの書いた本を、インドでどうとう勉強出来ませんでした。そのかわり首を切られて死んだら、あなたから直接勉強したいので兜卒天に生まれさせてください。」玄奘が一生懸命になつて心のなかで念じていた

と、伝記は伝えています。

その時大風が吹いたか何かして、突然大変な事が起こって、それで船に乗っていた人達が「あの人を殺すなと言ったのに殺そうとするから大風が吹いたんだ。」と言ったりして結局許されます。そうすると玄奘は「盗みは仏教の戒律では悪いことだから、おまえ達はこれから盗んではいけないぞ。人殺しをするなんてなお悪いことだ。」と説教したそうです。

殺されようという時でも、玄



契は「瑜伽師地論」をなんとか勉強するためにその本を書いたとされる菩薩のところへ生まれさせて下さいと念じました。

「瑜伽師地論」はそういう本なわけです。ですから会津の地でこんな本を持っていることは大変だったと思います。けれどもこの百巻の本の中からいろいろな文章をピックアップしてそれを上手に並べて止観論、修行論を書いたのです。

京都の竜谷大学の先生が「止観論なんていうのは、もとを正せば瑜伽師地論百巻のあちこちからバラバラバラバラ文を集めて作った本だから内容の統一がない。こんな物を書いた人は真面目なお坊さんとは思えない。つまらない男だったんだろう。」というようなことを書いていますが、私は正反対だと思っんです。百巻もある本の中から適当な文章を選ぶというのは大変なこと、余程百巻全部に通じていないと拾い上げるといわけにはいかなかったと思います。



しかもきちんとしてまとめています。止観論の「止」(心をとめる、平静にする。)ということについて六項目、「観」(真実を明かす。)ということについて五項目、それから「止観合説」(止と観を両方一緒にして行う)について十四項目から成る文章を作りました。難しい言葉ですが、止観論の中では「如所有性」(じんしゅうしやう)、「尽所有性」(じんしゅうしやう)という言葉が中心になっています。チベットにはこの言葉があるんだそうです。「瑜伽師地論」にあるんですか

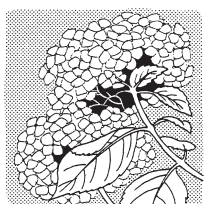
らインドの唯識派のお坊さんがそういう修行をやったんだと思います。中国では中国の古い時代には使っていたけれども、新しい時代ではあまり使われなかった言葉だそうです。そういう言葉を中心にして、会津にいた徳一がインドとかチベットとかの仏教に共通するような実践論を書きました。そしてただ書いたというだけでなく、非常によく実践した人なんだろうと思います。修行論でも論理を貫くというような傾向が見えるというところで徳一の論理性みたいなものは挙げていけばいくらでも例をあげることができます。

―万葉仮名の使用―

それではガチガチの学者だったんじゃないかというようなことを考えますが、時代に合う非常によくユニークなやり方をしていくという感じも致します。資料の中には融通性というふうになっていますが、徳一は万葉仮名を用いて解説しています。

お経というのは「如是我聞」という言葉で始まります。「如是」というのは、「かくのごとく」という意味です。「我聞」は、「私は聞きました。」このように弟子である私は聞きました。こういうふうにはお釈迦様から聞いています。というのがお経の書き出しの文章です。そうなんです。「このように」とはどのようなか、どんなことを意味しているのか、というので、またガチガチの議論をする人がいるわけです。それでインドの親光菩薩という人が非常に有名な「仏地経論」という本を書いていて如是には「譬喩・教誨・問答・許可」、信可審定といいます、四つの意味があるんだと言っています。

(七月号へ続く)



今月の知らせ



企画調整課

磐梯町フレッシュカーニバル2001開催のお知らせ

今年で12回目を迎える磐梯町フレッシュカーニバル2001が7月22日(日)に開催されます。会場はこれまでの町中央公民館・体育館から磐梯ふるさとの森公園に移転して開催され、これまでの全戸抽せん会、花火大会に加え、内容も新たに生まれ変わったイベントとして、磐梯そば打ち愛

好会協賛によるグリーンツリーズム事業やスポーツ少年団のソフトボール・バレーボール大会や、ストリートバスケット大会などを開催する計画となっています。

また、当日は町内の小学生以下等にちびっこランドのフリーパス券を配付したり、町内のみならず会津地方を代表するイベントとして成功させるよう計画しておりますから、他市町村の親戚・知人にも呼びかけてふるって参加していただきたいと思っています。



おおる公園イベント広場

委員会では、フリーマーケット出店希望者及びストリートバスケットボール(3オン3)の出場者募集やグリーンツリーズム事業として、そば播きと手打ちそば体験者・テニス教室の参加者募集案内をしており

ますので、事務局にお問い合わせください。

磐梯町フレッシュカーニバル2001実行委員会

事務局 企画調整課内

☎ 74-1214

住民課

犬の飼い主の方へお知らせ

○狂犬病予防注射について

今年度の町での集団畜犬登録及び狂犬病予防注射は終了しました。まだ狂犬病予防注射をお済みでない方は、かかりつけの動物病院で予防注射を必ず受けてください。予防注射が済んだら、動物病院で発行する「狂犬病予防注射済証明書」を町役場住民課へ持参し、狂犬病予防注射済票交付申請の手続きをお願いいたします。

○犬の死亡等について
飼っている犬が死亡した時や、犬の所有者住所変更、飼い主の変更があった時などは必ず町役場住民課で手続きをお願いいたします。

募集

消防職員を募集します

▼採用予定人員

・若干名

▼受験できる人

・昭和49年4月2日～昭和59年4月1日までに生まれた人

・学歴は問いません

・身体基準は、身体強健な人

○第1次試験

▼とき

・平成13年9月16日(日)

▼ところ

・会津若松地方広域市町村圏整備組合庁舎

▼内容

・教養試験

▼受験申込み用紙の請求

・消防本部・消防署・市役所・町村役場で交付します。

(郵送を希望する場合)

・封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120円切手を貼った宛先明記のA4判大の

返信用封筒を必ず同封し、消防本部総務課企画係に送付してください。

▼申込み期間

・平成13年7月18日(水)～平成13年8月17日(金)までの期間

▼申込・問合先

〒965-0037
会津若松市中央3丁目10番12号
会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務課企画係

☎ 0242-2511203

こころの病気の正しい理解を

講演会とパネルディスカッションのお知らせ

精神疾患を持たれた当事者、ご家族の方々、一般の方々などどなたでも参加できます。一緒に勉強しましょう

日時 平成13年7月8日(土)

午後1時～4時30分

場所 福島ルミネ(駅ビル)5F

ネクストホール

入場料 無料

連絡先 福島医大神経精神医学講座ブレインバンク

電話 024(548)2111 (内)2432、2433

先生紹介

「原体験」

磐梯第二小学校 校長

山口 善巳



「主導性」(initiative)という言葉がある。仕切るとかリーダーシップという意味で、自分の希望を実現させようとする具体的な企画、計画を立てることである。

赴任してまもない頃、昼休みに校舎巡視をしていると、子どもたちが中庭に集まってゴソゴソしている。なんと校地内で見つけたニホントカゲで遊んでいたのである。聞けばどうやら担任の先生がにがてらしく、子どもの優しい思いから、ここにアクリルケースをおいて飼育していたということである。ケース内には砂をしきつめ、鉢や石、枝木片を用いて、ニホントカゲの住環境が作られている。

子どもたちは学校の片隅で、いろいろな物語を組み立て、夢を形づくって遊び、生活している。学校の生活は教科の勉強が大半ではあるが、それ以外の休み時間、行事等も子どもたちにとっては貴重な原体験の時間なのである。

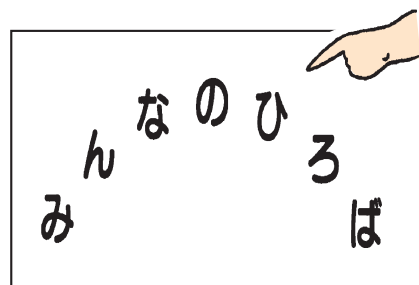
このような学校生活を過ごす中で、また地域の自然の中(雨、風、雪、暑さ、寒さ...)での遊びを累積していくことが「原体験」となっていく。遊びの中から、原体験の中での「主導性」が将来10年後、20年後に構想力、企画力かつ創造的な才能という意味での「個性」として花開くのであろう。

ありがとうございます。

虹の会代表大竹 浩様から社会体育設備にと5万円の寄付がありました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

昨年より3日早く、東北南部も梅雨に入った。5月の青空から一転して、どんよりとした梅雨空を見ると何となく気も滅入ってきます。また春から夏への季節の変わり目の「梅雨」は梅雨前線の活発化により大雨なども心配される時期でもあります。磐梯町は比較的大雨による災害は下流域の地域から比べて少ないと思いますが、過去には北堰の決壊や田への冠水などもあり決して安心はできません。気象情報に注意して、災害に備えた早めの対策をお願いします。

編集後記



今月の作品 早苗月詠作品(磐梯短歌会)

- いち早く棚田の畦に露のとう 冬を生き抜き萌え始めたり
- たつぷりと水を含みしうづら豆 少し甘目に刻かけて煮る
- 山間の黄緑を映し反射せし 水沼を想う遠き日の旅
- 去年より庭に棲みつく鶺鴒らし わがもの顔に尾羽振りふる
- 隣り村の二つ女増しの人なりき 山の湯に覚む老春の夢

鈴木 った
田中 絹代
秋元 茂子
加藤 澄枝
永山 義男

「おとうさん」



磐梯幼稚園

たなか ひでゆきくん(5歳児)

ぼくの作品
わたしの作品

[メニューに戻る](#)